

平成 28 年度宅地建物取引士資格試験のための統計数値情報

宅地建物取引士資格試験（宅建試験）は、最新の統計数値から統計問題が出題されます。
平成 28 年度の宅建試験で出題の可能性のある統計数値情報をお知らせします。なお、宅建全国Web
模擬試験では最新の統計問題も出題していますので必ず受験するようにしてください。

統計数値のうち、過去に出題数が多いのは、①地価公示の概要、②前年の建築着工統計（新設住宅着
工戸数）です。なお、建築着工統計には「年（1月～12月）」の数値と「年度（4月～翌年3月）」の
数値がありますが、出題頻度が高いのは「年」の数値です。

①平成 28 年地価公示結果の概要

平成 27 年 1 月以降の 1 年の地価について

- ◆全国平均では、全用途平均で昨年までの下落から上昇に転じた。用途別では、住宅地はわずかに下
落しているものの下落幅の縮小傾向が継続している。また、商業地は昨年横ばいから上昇に転じ、
工業地は昨年下落から横ばいに転じた。
- ◆三大都市圏をみると、住宅地はほぼ前年なみの小幅な上昇を示し、商業地は総じて上昇基調を強め
ている。また、工業地は東京圏で上昇基調を強め、大阪圏及び名古屋圏では昨年下落から上昇に
転じた。
- ◆地方圏をみると、地方中枢都市では全ての用途で三大都市圏を上回る上昇を示している。地方圏の
その他の地域においても全ての用途で下落幅が縮小している。

< 圏域別・用途別対前年変動率 >

		平成 27 年地価公示	平成 28 年地価公示
住宅地	全国平均	△0.4%	△0.2%
	三大都市圏平均	0.4%	0.5%
	地方圏平均	△1.1%	△0.7%
商業地	全国平均	増減なし	0.9%
	三大都市圏平均	1.8%	2.9%
	地方圏平均	△1.4%	△0.5%

※「△」は下落を意味します。

②平成 27 年 1 年間（年）の新設住宅着工戸数（平成 28 年 1 月公表）

平成 27 年の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で増加となった。

- ・平成 27 年 1 年間の新設住宅着工戸数 : 909,299 戸
前年比 1.9%増、昨年の減少から再びの増加。
- ・平成 27 年 1 年間の新設住宅着工床面積 : 75,059 千㎡
前年比 0.8%減、2 年連続の減少。
- ・平成 27 年 1 年間の新設住宅着工戸数の利用関係別戸数

項目	戸数	前年比（増減）
持家	283,366 戸	0.7%減（2 年連続の減少）
貸家	378,718 戸	4.6%増（4 年連続の増加）
分譲住宅	241,201 戸	1.6%増（昨年の減少から再びの増加）
分譲住宅 （マンション）	115,652 戸	4.7%増（昨年の減少から再びの増加）
分譲住宅 （一戸建住宅）	123,624 戸	1.4%減（2 年連続の減少）

- ・平成 27 年 1 年間の新設住宅着工戸数の建築工法別戸数

項目	戸数	前年比（増減）
プレハブ	143,549 戸	2.2%増（昨年の減少から再びの増加）
ツーバイフォー	114,617 戸	2.8%増（昨年の減少から再びの増加）

③土地白書による平成 27 年の土地取引件数（平成 28 年 5 月発表）

- ・平成 27 年 1 年間の全国の土地取引件数 : 128.7 万件
前年比 2.4%増

④法人企業統計調査による平成 26 年度の不動産業の売上高および経常利益（平成 27 年 9 月発表）

- ・平成 26 年度の不動産業の売上高 : 36 兆 9,812 億円
前年比 1.9%減
- ・平成 26 年度の不動産業の経常利益 : 4 兆 6,484 億円
前年比 12.9%増、2 年連続の増加

⑤国土交通白書による平成 26 年度の宅地建物取引業者数（平成 28 年 6 月発表）

- ・平成 26 年度の宅地建物取引業者数 : 12 万 2,685 業者
前年比 0.5%増、9 年ぶりの増加